

もっと  
福井の魅力を  
知りたい  
から・・・

# ふくいの魅力探訪

ふくいの“お宝”ひとくちメモ

取材協力・足羽神社



## VOL.02 足羽神社

### 福井ゆかりの天皇を祀る神社

足羽神社は、越前で育ち、後に天皇になった継体天皇を祀っている。継体天皇は6世紀初頭に即位したと伝えられている古代の天皇だ。越前の治水事業を行う際に、事業の安全を朝廷に祀られている坐摩神いかさりのかみに祈願するために建立したのが、この足羽神社であると伝わる。

### 継体天皇にまつわる伝説

足羽神社には継体天皇が福井の諸産業を興した伝説が多く残る。有名なものが当時氾濫の続いていた九頭龍川・日野川・足羽川で治水工事を行い、福井平野を拓いたという伝説だ。

また、継体天皇が笏谷石を採掘して越前の民に与えたことで、福井の特産品として扱われるようになったという話も伝わっている。

これらの伝説が伝えられている継体天皇に感謝の意を込め、明治時代には内山甚四郎氏を始めとする地元の石工により像が建てられた。笏谷石製の継体天



足羽神社社殿。1500年以上の歴史の中で戦火・天災に遭いつつもその度に再建して今に至る。

皇像は足羽山の山頂から福井平野を望む。

### 「たいこく大国」越前

これまでの調査の結果、継体天皇が越前を支配していた前後の時期から米の生産力が向上し始めたことが分かっている。米どころ・福井はこの頃より始まっていたのだ。継体天皇は越前の地から請われて中央に迎え入れられた天皇であるが、即位した理由の一つは米の生産力が高く、交易も盛んな強力な地盤を有していたためと言われる。

継体天皇以後も越前は重要な国として認識されており、平安

時代の法律等を定めた延喜式では、越前は最も国力の高い国である「大国」の一つに数えられた。後の時代で戦国時代の朝倉氏や幕末の福井藩などが有名になるが、彼らが活躍できる基盤が作られ始めたのは継体天皇の時代と言っても良い。

足羽神社は福井市の天然記念物に登録されている、樹齢300年を超えるしだれ桜でも有名で、毎年春になると多くの花見客で賑う。1500有余年の歴史を持つ足羽神社は、足羽山周辺の住民に親しまれつつ、福井の基礎を作った継体天皇の伝説を今に伝えている。

〈参考文献〉

・福井県史 ・福井市史



笏谷石製の継体天皇像。ここから福井市街地を一望できる。